



(様式第1号)

平成 28 月 5 月 25 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : ⑧マネジメントに関する領域

科 目 名 : ⑧-5 介護分野の人材育成と学習支援

単 位 数 : 1 単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 公益社団法人長野県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 380-0928

長野県長野市若里 7-1-7

電話 : 026-223-6670

FAX : 026-223-6679

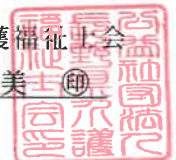
E-mail : sakai@kaigo-nagano.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : (公社) 長野県介護福祉士会

会長 畠山仁美

申請責任者 : 酒井 良育



記

○認定介護福祉士認定研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	マネジメントに関する領域	
科目名	介護分野の人材育成と学習支援	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を支援する組織のあり方や学習の理論を理解させ、自職場における学習する組織づくり、地域包括ケアにおける社会環境づくりについて実践する力を育成する。</li> </ul>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長を支援する組織のあり方のポイントについて、概説できる。</li> <li>・成人の学習に関する原則のポイントについて、概説できる。</li> <li>・以上を踏まえて、自職場の人材育成の現状と課題を分析し、改善策について検討できる。</li> <li>・地域包括ケアをふまえた社会環境づくりにむけた学習プログラムを企画できる。</li> </ul>	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成長を支援する組織 <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員満足、顧客満足とサービスプロフィットチェーン</li> <li>・専門性と組織性の統合</li> </ul> </li> <li>○成人の学習に関する原則 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のメカニズムと学習モデル…成人学習、経験学習、批判的思考、実践共同体、協調学習、学習する組織</li> </ul> </li> <li>○人材育成の体系 <ul style="list-style-type: none"> <li>・インストラクショナルデザインと職場の環境づくり</li> <li>・介護職のキャリアラダーとキャリア開発</li> <li>・教育・研修体系の構築と評価</li> </ul> </li> <li>○地域包括ケアシステムの構築と社会環境づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアを見据えた地域での学習の展開の必要性</li> <li>・多職種連携教育、地域住民等の学習プログラム</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事前課題1（1時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に配布する成人の学習に関する理論に関する資料を読み研修に臨むこと。（内容：学習メカニズム、成人教育とは何か、アンドラゴジーとペタゴジー、学習する組織論、等に関する資料：講師作成）</li> </ul> </li> <li>○事前課題2（2時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の職場の人材育成システムを、研修体系、各研修の方法、キャリアパスとの連動、成果と課題の視点からレポートすること（1600字）</li> </ul> </li> </ul> <p>〔研修当日〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○成長を支援する組織と人材育成理論（講義）（1時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織とサービスの関係の中で、サービスプロフィットチェーンの仕組みを理解し、人材育成の重要性を理解させる。また、人材育成理論と成人教育理論について事前課題1を踏まえて講義する。（CS・ES・MS、SPC、専門性と組織性の関係、インストラクショナル・デザイン（以下、ID）と教育研修、介護職のキャリア開発支援）</li> </ul> </li> <li>○職場の人材育成システムの検討（演習）（2時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前課題2のレポートをもとにグループで報告しあい、自職場の人材育成や研修システムの課題を検討する。職場における人材育成システムがキャリアパスやキャリアラダー等とどのように関連するかを意識させる。成人教育と子どもの学びの違いから、現任者研修としての課題を発見させる。</li> </ul> </li> <li>○IDに基づく教育研修体系づくりと評価について（講義）（1時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・IDにおける教育研修体系づくりの手法と評価手法を講義で学ぶ。（教育研修体系の構築、評価手法）</li> </ul> </li> <li>○教育研修の評価演習（演習）（1時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬的な教育研修体系と事例をもとにして、評価と改善手法について演習を通して学ぶ。</li> </ul> </li> <li>○地域包括ケアシステムと住民教育（講義）（1時間）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民を対象とした学習や他職種連携教育についての理論的講義。(住民教育、他職種連携教育、学習モデル・動機づけ理論、等)</li> <li>○地域住民対象の学習プログラム作成(演習)(1時間)</li> <li>・地域包括ケアシステムを見据えた地域住民を対象とする学習プログラムを作成し相互に評価する</li> <li>○学習のリフレクション(振り返り)(講義・演習)(1時間)</li> <li>・研修全体を振り返り、リフレクションを行い講師がコメントを行う。</li> <li>・組織論、成人教育論、ID等についてポイントのまとめ。</li> <li>・事後課題に向けた講義</li> <li>○事後課題(4時間) 研修での学びを基に自職場の研修計画を作成させる。(2000字)</li> <li>・成人教育理論やIDの視点から研修の構築や提案が行われているかどうかの評価ポイント。</li> </ul>
研修方法	<p>■集合研修 ■課題学習</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 ○課題学習は事前・事後課題として、レポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>
研修時間	15時間(集合研修8時間、課題学習7時間)
修了要件	○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計30分(遅刻、早退それぞれ15分)を上限として認める。(レポート課題なし)1日のプログラムのうち、始めの30分を超える遅刻、終わりの30分を超える早退であって120分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。また、各コマにおいて合計15分以上の離席があった場合には講義・演習の内容を補うレポート課題を提出するものとする。
講師要件(講師の選定基準)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</li> <li>・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</li> </ul>
(2)受講者について	
受講対象(受講要件)	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I類修了者</li> <li>・ユニットリーダー又はサービス提供責任者以上の職歴が3年以上の者が望ましい。</li> </ul>
修了評価	<p>修了評価は事後課題「研修での学びを基に自職場の研修計画を作成させる。(2000字)」により行う。成人教育理論やIDの視点から研修の構築や提案が行われているかどうかを評価ポイントとして、100点満点で評価する。</p> <p>100点満点中80点以上をA評価、70~79点をB評価、60~69点をC評価とする。60点以下の場合はビデオ学習による補講を行った上で、別途課されるレポート(地域包括ケアシステムの構築と社会環境づくりについてA4用紙1枚にまとめる)を提出する。</p> <p>なお、集合研修を欠席した場合、課題が提出されていても修了を認めない。</p>
(3)研修の環境条件	
定員(講師の配置基準)	30名(講師1名)演習時も同じ講師で行う。
開催場所(都道府県)	JA長野県ビル(長野県長野市)

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

## 認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 30 年 4 月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 長野県長野市 JA 長野県ビル
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当する講義等 介護分野の人材育成と学習支援
	丸山晃 氏 東洋大学社会学部社会福祉学科助教 社会福祉士 長野県介護福祉士会ファーストステップ研修 主な著書 「臨床に必要な社会福祉援助技術演習」共著、 弘文堂、「地域福祉論」共著、学文社、「新・社会福祉学講 義」共著、西日本法規出版、「障害をもつ人たちの権利」 共著、一橋出版、
	担当する講義等 修了評価 丸山晃 氏 (東洋大学社会学部社会福祉学科助教) 履歴等は同上
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	研修委員会 (非常勤: 17 名) 事務局 (担当事務局員、常勤: 4 名) 研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認 し、担当講師と科目間の連関や留意点について共有する。 また、できる限り研修委員会の委員が研修を見学し、研修 内容を評価するとともに、随時、研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する 諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	副会長
研修管理責任者氏名	原千香子
機構問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	酒井良育
機構問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
機構問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
受講問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
受講問合先担当者氏名	酒井良育
受講問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
受講問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp

(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	長野県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○紙媒体及びデータによる台帳管理</li> <li>○外付けディスクにバックアップデータを保管する。</li> <li>○データ保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。</li> <li>○個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。</li> </ul>
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	土屋一都(事務局長)
管理担当者氏名	酒井良育(担当の常勤職員)